

深く考えるため

毎月未発売

新たな知をリードする

【知の新書】

SONDEOS

# 吉本隆明 心的現象論・本論

世界最高峰の思想思索の結実！  
ヘーゲル「精神現象学」を超える思想言説！

感覚は、物への空間的な関係づけをさらに時間的に了解作用させ、自らの観念作用や実践行為をなす。

マルクス自然哲学に立脚し、精神分析・心理学の異常さから人間本質を考察、原初的人类学的考察、文学表出、古代歌謡、などフロイトやレヴィ・ストロースなど貫く、世界思想総体の総括！  
この書から、新たな世界の設計が始まる！

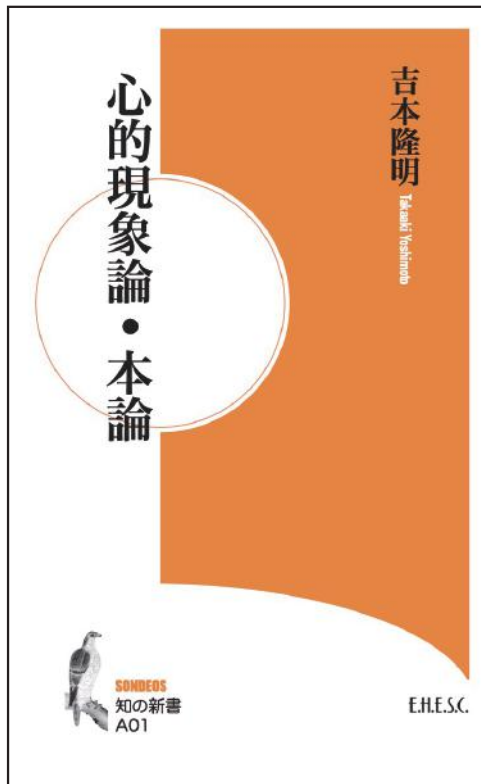
思想は、感覚の世界だ、  
感覚の観念作用は意識・認識・行為の根源だ！  
人間の生きてあることを問う、迫真の考察！

西欧近代の普遍に代わる  
日本からの本格的な普遍思想！

2022年1月31日発売

文化科学高等研究院出版局

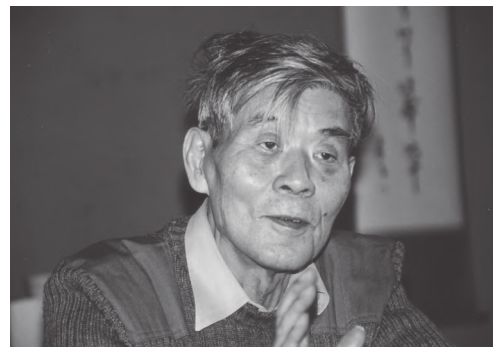
ehescjapan.com を参照



内容  
眼の知覚論  
身体論  
関係論  
了解論

全111項にわたる  
壮大な大著。

単行本完売による  
新たな新書廉価版の発行



784 ページ 新書  
定価 3960 円 (本体3600円+ 10% 税)  
ISBN 978-4-910131-26-9 C1210

吉本隆明 (よしもと たかあき)

1924.11.25-2012.3.16。詩人、思想家。  
『芸術的抵抗と挫折』(1959)以来、日本を代表する批評家として、戦争責任、自立の思想、関係の絶対性など政治思想、文学論、情況論を多彩に展開しながら、『言語にとって美とはなにか』(1965)、『共同幻想論』(1968)、『心的現象論序説』(1971)、30年以上書き続けられた『心的現象論・本論』の三つの本質論は世界思想としての地平を開いた。『マス・イメージ論』から『超西欧的まで』『ハイ・イメージ論 1,2』で消費社会、超資本主義の現在変容を把握しながら『アジア的ということ』『アフリカの段階について』『南島論』そして『母型論』と人類の本質に迫る。天皇制、親鸞論、キリスト教論の「信の構造」は宗教の本質へと肉薄する。『高村光太郎』『宮沢賢治』『島尾敏雄』の現代文学論、「西行」『良寛』『源氏物語』そして『初期歌謡論』の古典論、『詩学叙説』など詩論、は文学批評の質を転換した。これらの軌跡は「思想の機軸とわが軌跡」へまとめられた。多くの批評家、識者たちへ影響を与えた日本最後の大思想家である。

直接注文・購入は <https://bookehesc.base.shop/>。

書店での注文は「RCC」 [bookehesc.base.shop/](https://bookehesc.base.shop/) [fax:03-3294-2177](https://bookehesc.base.shop/)

文化科学高等研究院出版局 [tel:03-3580-7784](https://bookehesc.base.shop/) [fax:03-5730-6084](https://bookehesc.base.shop/)

## 心的現象論・本論

吉本隆明

定価 3960 円

新書

書店名

部数

ISBN 978-4-910131-26-9 C1210 ¥3600円